

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2019年
6月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 小南 晃

印刷所
文明堂印刷所

「出会う」の中に「愛」がある

執事 バルナバ 永野 拓也



第56回 中高生大会

先日、今年の夏に開催予定の中高生大会の準備をする為に、中高生たちと話し合いの時を持ちました。彼らは今年、「でアイ」というテーマを考え、大会を運営

しています。何故、そのよ
うなテーマにしたのかと聞
いてみたところ、興味深い
答えが返ってきました。そ
れは、『「出会い」の中には
『愛』がある。だから、参加
者全員が出会いに感謝でき
る大会にしたい。そして、
大会を通して神様の愛、家
族や友達への愛について考
えるきっかけを作りたいか
ら。』というものでした。中
高生の持つ感性や柔軟性
に、改めて大きな可能性を
感じた出来事でした。「参加
者全員が、神様が与えてく
れた出会いに感謝できる大

会にしたい。」彼らの真っ直
ぐな想いに触発されて、私
も改めて聖書に描かれてい
る「出会い」や「愛」にまつわ
る物語をいくつか調べてみ
ました。

隣人愛を問い直す イエス様

その中でも特に、ルカに
よる福音書10章25節以下に
記された、「善いサマリヤ
人」の物語が目にとまりました。
律法学者は「何をしたら
ら、永遠の命を受け継ぐこ
とができるでしょうか。」と
イエス様を試みます。しか
しイエス様は、「律法には何
と書いてあるか。」と問い直
します。律法学者が「神様へ
の愛」と「隣人への愛」を口
にしたところ、知っている
ならば、それを実行すれば

よいではないかとイエス様
に切り返されてしまうので
す。ばつの悪くなった律法
学者は、「では、わたしの隣
人とは誰ですか。」とイエス
様に再び問いかけます。そ
こでイエス様は、「追いはぎ
に襲われ倒れていた旅人」の
話をされます。その旅人の
側を通った同胞である祭司
やレビ人は、この人を助け
ようとせずに通り過ぎてし
まいます。しかし、当時ユ
ダヤ人たちから軽蔑の対象
になっていたサマリヤ人
は、旅人を介抱するので
す。ユダヤ人とは「隣人関
係」にあるとは思えないサマ
リア人が、民族の垣根を越
え、ユダヤ教の掟が命じる
隣人愛を実践するという皮
肉。イエス様は、この話を
通して「隣人」を定まった範
囲に押し込めてしまうので
はなく、自分が積極的に「な
っていく」ものであると述べ
ているように思います。ま
たイエス様は、他の箇所でも
「自分を愛してくれる人を

神様の宣教に参与する

愛したところで、あなた方
にどんな恵みがあるか(ル
カ6:32)。」と述べられてい
ます。つまりイエス様にと
っては、全ての人が愛の対
象であったのです。

私たちは、気の合う仲間
やよく知った人々と共に過
ごすことに居心地の良さを
感じます。しかしイエス様
は、自分と良い関係にある
人だけを愛するという考え
方に疑問を投げかけていま
す。何故ならイエス様の愛
は、全ての人を包み込むか
らです。中高生たちは、初
めての参加者やこれまで関
わりのなかった参加者と
も、良い交わりを持てるよ
うに準備しています。私
は、彼らの働きがまさに神
様の宣教に参与しているの
だと感じています。今年の
中高生大会に多くの参加者
が与えられますよう、お祈
りいただければ幸いです。

(広島復活教会牧師補)